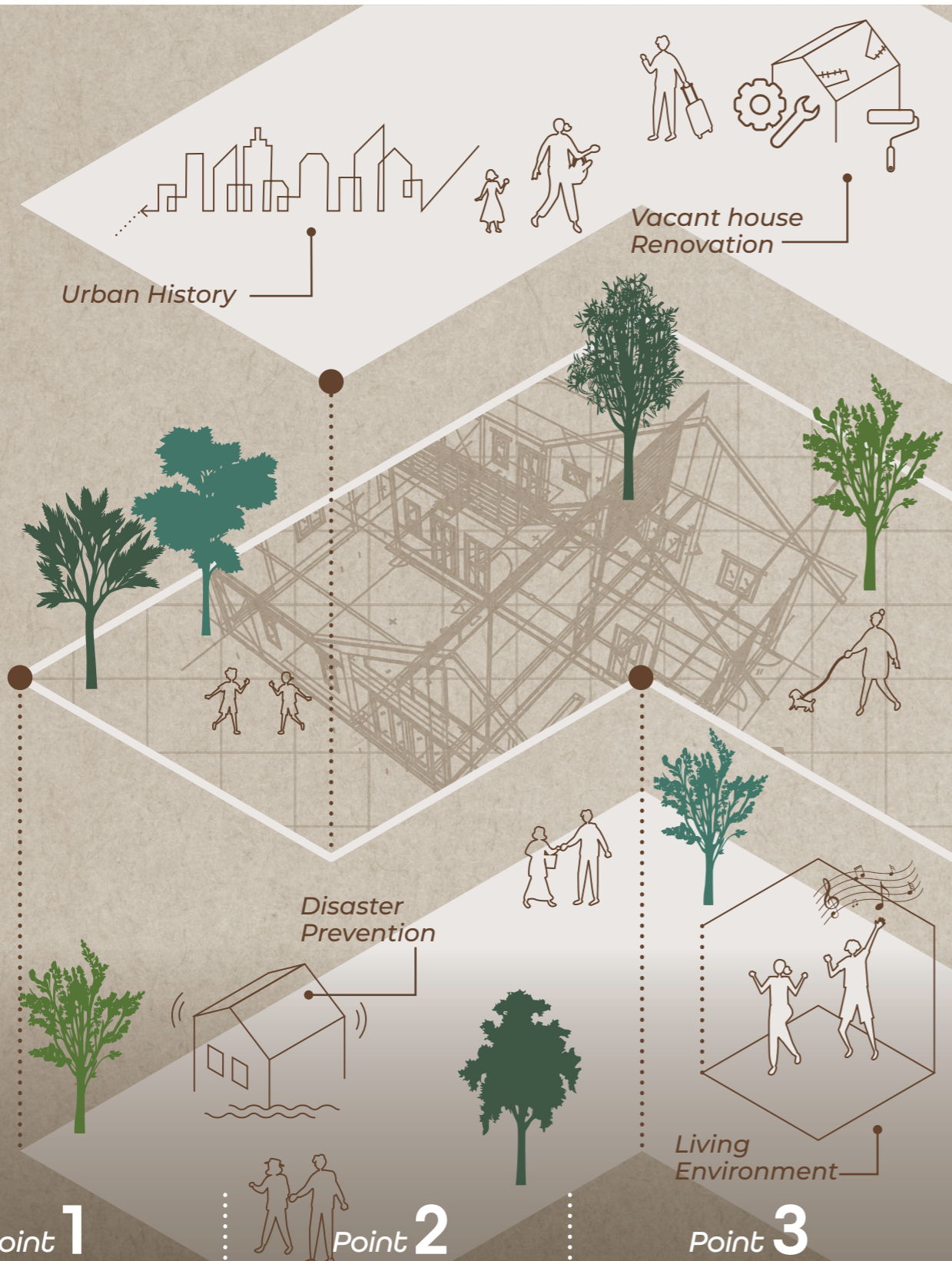


環境建築デザイン学科

「次世代につながる建築を」
強い矜持で設計図を描く。



Point 1
幅広い「環境建築デザイン」から見つける得意分野
建築計画・設計、造園・ランドスケープ、都市・地域計画、建築史・空間論、環境工学、建築構造・安全防災など、広範な分野を学べます。

Point 2
実践形式で高める、イメージを形にする力
実際の現場を想定した演習科目では、複雑な条件や要求を一つの空間・イメージにまとめる訓練を行います。

Point 3
「環境学」という視座から創造する建築・都市の未来
環境生態学、環境政策・計画学、生物資源管理学と共生した学びから、これからの生活空間・地域環境を追求します。

◆ 学びの流れ

幅広い「環境建築デザイン」から見つける得意分野
建築計画・設計、ランドスケープ、都市・地域計画、建築史、理論、環境工学、建築構造など広範な分野の基礎を学びます。

◆イメージ表現法 ◆建築一般構造
◆設計基礎演習 ◆構造計画
◆環境建築デザイン概論 ◆建築数学・物理
◆地域環境計画

1回生
科目 PICK UP
イメージ表現法
デザイン行為の原動力となるイメージーションやアイデアを整理し、そのイメージを2次元および3次元で表現する力を養うことをねらいとしています。
設計基礎演習
この演習では、3次元の立体である建築を2次元の平面に表現する方法として考案されてきた数々の作図方法の一端を学びます。また、2次元の図と模型を用い、建築をプレゼンテーションする方法についても学びます。

2回生
実践形式で高める設計力
設計演習では実際の建築を想像した実習を行い、複雑な条件や要求をひとつの空間、建築にまとめる訓練を行います。また、講義ではそのために必要な知識を学びます。
「環境学」という視座から創造する建築・都市
環境建築デザインの幅広い課題に関する演習と講義を通じて、課題の分析・解決・提案、及びそれらをデザインに表現する能力身につけることを目標とします。

3回生
専門性を高め実践力、創造力を育む
「環境」、「建築」、「デザイン」、「地域」などをキーワードとして、各自が取り組むべき課題を設定して、研究・設計・制作を進めます。卒業研究では「通年論文」、「通年設計」、「前期論文・後期設計」のいずれかの形態を選択します。

◆設計演習Ⅰ ◆景観計画 ◆内部空間論 ◆建築環境工学
◆設計演習Ⅱ ◆ランドスケープデザイン ◆環境造形論 ◆建築法規
◆CAD演習Ⅰ ◆西洋建築思潮史 ◆構造力学Ⅰ

◆設計演習Ⅲ ◆環境職能論 ◆建築環境工学演習
◆設計演習Ⅳ ◆アジア建築史 ◆構造材料実験
◆CAD演習Ⅱ ◆環境技術史 ◆環境技術史
◆環境建築デザイン演習 ◆日本建築史 ◆環境設備
◆サステナブルデザイン論 ◆構造力学Ⅱ

◆卒業研究・卒業制作Ⅰ・Ⅱ



環境科学部 / 環境建築デザイン学科

工学部

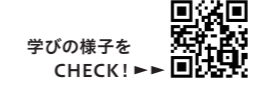
Student's VOICE



数々の演習で学びを形に。街と人をつなぐ建築を学ぶ。

環境科学部 環境建築デザイン学科 4回生
袋谷 奏斗さん
| 私立近江高等学校 出身

設計だけでなく環境や地域との関係性も含めて建築を学べる点に魅力を感じ入学しました。授業の設計演習で粘り強く考える力を養い、学生主体の学外での展示会では、制作物を一般の方に見てもらい直接感想を聞いたり、制作した家具の販売も経験しました。今後は民家の魅力を言語化しつつ、住宅建築を深く学びたいです。



◆ 時間割モデル(2回生 前期)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1				日本建築史	環境行動論
2	都市・建築をつくる	英語	英語	構造力学	西洋建築史
3					英語
4	環境フィールドワーク	インテリア計画論	設計演習		体育
5		環境設計			

袋谷さんのCOMMENT 正解のない課題に向き合いながら、仲間や先生方との議論で良案に辿り着き嬉しかったです。

OB・OG MESSAGE



設計課題への挑戦と地域活動を通じた成長を実感できた

環境建築デザイン学科 2015年度卒業
環境科学研究科 環境意匠研究部門 2017年度修士
中村 睦美さん
| フリーランス編集者

入学当初は設計課題が苦手でしたが、懸命に取り組むことで図面を描くことや物を見る、手を動かして作るという経験を得られました。入学の前年に東日本大震災があったため、ものづくりを通じた震災復興活動に参加するなど、「今起きていることは何か」を意識して積極的に学外の活動に足を運ぶようになりました。校舎が地域や自然に開かれていたことは、人と人の関係性だけではなく物や制作に向き合うための重要で貴重な環境だったと思います。

中村さんの「今」

文字情報や対話への関心から本というメディアに向き合っていたと思い現在はフリーランス編集者として活動しています。在学中の自主制作や論文執筆などの経験、絵を描いたりイメージを制作する技術が日々発揮できています。



人間文化学部

人間看護学部

研究室での幅広い学び

持続可能な都市、地域を創生するために、景観、防災、資源、エネルギーなど
広い視野から環境デザインを学びます。

地域に根ざしたサステナブルデザインの研究と実践

—— 芦澤 竜一 教授

地球環境や社会問題など、現代を取り巻く多様な問題に対して、建築デザインを通じて解決方法を探究する研究室です。地域から都市、滋賀から海外まで幅広いフィールドを対象に現地調査を行い、各地の課題を発見し、建築空間として具現化する中で解決を試みます。また、建築に限らず、生態学や環境学などの他分野と連携し、時代に即した新たな環境・建築の構築方法を研究しています。いくつかの研究テーマに分かれたゼミ形式で、複数のプロジェクトに取り組みながら、研究と設計を並行して行い、実践的な建築デザイン力の向上を図っています。



都市と建築の多様性を学ぶ

—— ヒメネス ベルデホ ホアン ラモン 准教授

日本だけでなく、世界に目を向けて、さまざまな都市や文化から多くのことを学んでいきましょう。都市のデザインとその未来を考えるためには、まず現在の都市の姿を深く観察し、理解することが大切です。そのためには、過去から現在に至るまでの都市の変化や発展の歴史、環境との関わり、伝統建築と現代建築の特徴などを幅広く考察する必要があります。世界中の都市には、それぞれ独自の歴史と文化的背景が存在しており、そこから得られる知見は非常に豊かです。異なる時代や文化に応じた都市のあり方や建築の多様性について、一緒に探究し、未来の都市のあり方を考えていきましょう。



サステナブルな建築構造デザインを探究

—— 永井 拓生 講師

現在、世界における化石資源使用、CO₂排出、産業廃棄物のおよそ40%が土木・建築産業によるものであり、温暖化や環境破壊を食い止めるためには建設産業の変革は避けては通れない課題です。私達の研究室では「植物素材」と「軽量構造」の2つのコンセプトを軸に、環境負荷がより小さく安全性とデザイン性に優れた「サステナブル構造デザイン」を研究しています。植物に限られたエネルギーと養分を上手に使った「最適デザイン」のお手本です。自然に学び、自然を活かした美しい建築構造と一緒に探求しましょう。



近現代の歴史的建築物を調査し、 保存活用の方法論を探る。—— 玉田 浩之 准教授

近年、近現代建築物の歴史的価値や文化的価値が理解されず、解体される事例が増えています。建物の価値を理解し、現状に合わせて活用していくことができれば、歴史的環境を豊かに育んでいくことができるはずです。本研究室では、歴史的建築物を保存しつつ、現代社会に適合させて再利用する「アダプティブリユース」の研究を行っています。近現代建築物の歴史研究や現地調査を行いながら、その魅力や価値を再発見し、それらの知見をもとに、保存と活用を両立させるための手法や考え方を探求しています。



人類は世界との繋がりを「たてる」動物だ。

—— 西澤 俊理 准教授

ひとたび湖に出れば、手足のように舟や仕掛けを操って、潮や魚の動きまで感覚する漁師たちの身体に息を呑みます。また東南アジアの山岳を訪れば、人と牛の身体が渾然一体となって数千の段畑を岩肌に刻んでいく、人間の想像力に圧倒されます。それら1つ1つに、空間や建築という人類の願いがある。人は意識や言葉を用いて世界から自律しつつ、今度は物語や道具を「つくる」ことで世界との繋がりを「たてる」稀有な動物です。西澤研究室では世界中に潜在している等身大の身体と空間を観察し、「たてる」という人類独自の知性を探究します。



人と環境をつなぐ快適な建築の仕組み

—— 鄭 新源 講師

建築は、社会が求める様々な価値の中で総合的に評価されるものですが、中でも人間が生活する環境として快適な空間づくりを目標に、光・音・熱・空気など建築の物理要素と人間との関係を明らかにする研究を行っています。実験等による心理評価・行動と環境刺激・居住環境情報との関係を構造化する基礎的な内容から、住宅の温熱快適性、オフィスの知的生産性、学校教室の学習効率等、建築空間に対する調査・評価を行い、快適な建築空間の作り方と使い方を提案します。



特徴的な専門科目

合同講評会

設計演習ⅠからⅣで建築造形の基本、実践的な設計につなげる設計過程、そしてより高度な計画・デザイン手法を身につけ、総合的な提案力を学び、合同講評会にて発表を行います。



木匠塾

「木匠塾」は、地域の課題を、木によるものづくりで解決することを目指した科目です。地域との関わりを重視し、設計から制作までを学生自身が主体的に行う、本学科の特徴的な科目の1つです。



卒業論文・制作テーマ例

- ◆琵琶湖自然共生型社会の環境整備に関する基礎的研究
- ◆空間のリラクゼーション効果を高める開口部の色温度に関する研究
- ◆湖北町尾上集落の空間構造変化と生活像の変容に関する研究
- ◆産業遺産の保存・活用に関する考察
- ◆地域特性を考慮した廃校再生手法の研究
- ◆自然界にみられる形態をもとにした建築設計手法に関する考察

進路状況



資格一覧※1

- ◆一級建築士受験資格
- ◆木造建築士受験資格
- ◆施工管理技士資格※2
- ◆社会福祉主任任用資格
- ◆二級建築士受験資格

※1 資格の取得には、大学が定める所定の科目の履修と単位修得が求められます。
※2 受験資格認定対象者は「基礎数学Ⅰ」、「基礎数学Ⅱ」、「建築数学・物理」の中から2単位以上履修した者。

主な就職先

- 2023～2025年度学部卒業生
- 【企業】
- ◆オムロンフィールドエンジニアリング(株)
 - ◆(株)木の家専門店 谷口工務店
 - ◆(株)一条工務店
 - ◆(株)イトーキ
 - ◆大阪市高速電気軌道(株)
 - ◆(株)大林組
 - ◆(株)鹿島建設(株)
 - ◆(株)開電エネルギーソリューション
 - ◆(株)積水ハウス(株) 積水ハウス リフォーム(株)
 - ◆(株)大和ハウス工業(株)
 - ◆(株)竹中工務店
 - ◆タマホーム(株)
 - ◆(株)長谷工コーポレーション
 - ◆ミサワホーム(株)
- 【行政機関】
- ◆大阪市
 - ◆独立行政法人 都市再生機構
 - ◆滋賀県
 - ◆京都府
 - ◆大津市

主な進学先

- 2023～2025年度学部卒業生
- ◆滋賀県立大学大学院
 - ◆大阪公立大学大学院
 - ◆京都工芸繊維大学大学院
 - ◆京都府立大学大学院
 - ◆千葉大学大学院